【内閣府／総務省／文部科学省／経済産業省】

令和７年度　AI 関連政策最前線

日　時　**2025 年１０月２２日（水）**　午後１時～５時
受講方法　会場受講／ライブ配信／アーカイブ配信(２週間、何度でもご視聴可)
会　場　紀尾井フォーラム　東京都千代田区紀尾井町4－1 ニューオータニガーデンコート1F

Ⅰ. 政府の AI 政策（仮題）　【13:00～13:55】

調整中

内閣府　科学技術・イノベーション推進事務局　人工知能政策推進室
参事官補佐　前田　志保理　氏

Ⅱ. 信頼できる国産 AI の開発・活用に向けた総務省の取組　【14:00～14:55】

生成 AI は社会に必要不可欠なインフラになることが想定される一方で、現状海外製 AI の普及が進んでいるところ、国産 AI の活用を進めるために企業や自治体等が信頼して活用できる AI の開発が求められています。総務省では、信頼できる国産 AI 開発のために NICT と共に進めている日本語の学習用データの整備・提供の取組を行っています。

本講演では、この取組を始め AI に関連する総務省の取組をご紹介します。

１. 総務省の研究開発推進方策
２. 信頼できる国産 AI の開発・活用に向けた取組
・日本語を中心とした学習用データ整備
・AI の信頼性を高める評価基盤
３. その他総務省における AI 関連施策
４. 質疑応答／名刺交換

総務省　国際戦略局　技術政策課　研究推進室　課長補佐　熊原　渉　氏

Ⅲ. AI for Science に関する文部科学省の取組　【15:05～16:00】

近年、AI を科学研究に組み込むことで、研究の範囲やスピードに飛躍的向上をもたらす「AI for Science」が、科学研究の在り方に変革をもたらしつつあり、各国で環境整備が進んでいるなか、日本の強みを活かした「AI for Science」の実装が課題となっている。

急速に進展している「AI for Science」の現状を説明するとともに、文部科学省の取組を紹介する。

１. AI for Science とは
２. AI for Science の現状
３. AI for Science に関する文部科学省の取組
４. 質疑応答／名刺交換

文部科学省　研究振興局　参事官（情報担当）付　参事官補佐　轟木　誠一郎　氏

Ⅳ. AI 事業者ガイドラインについて　【16:05～17:00】

生成 AI の普及を始めとする近年の技術の急激な変化等に対応すべく、経済産業省と総務省は、有識者等と議論を重ね、関連する既存のガイドラインを統合・アップデートし、「AI 事業者ガイドライン」を取りまとめました。開発者、提供者、利用者に求められるガバナンスの概要、および本ガイドラインを参照いただくポイントについて解説させていただきます。

１.「AI 事業者ガイドライン」の基本的な考え方
２. 各主体（AI 開発者・AI 提供者・AI 利用者）に共通の指針
３.「AI 事業者ガイドライン」の活用
４. 質疑応答／名刺交換

経済産業省　商務情報政策局　情報経済課　ガバナンス戦略国際調整官　宇田川　翔　氏

ＰＲＯＦＩＬＥ　前田　志保理（まえだ　しほり）氏

準備中

ＰＲＯＦＩＬＥ　熊原　渉（くまはら　わたる）氏

2013 年　総務省入省。ICT・無線通信システムの研究開発プロジェクトの推進、ICT リテラシーの向上推進、視聴覚障害者等向け放送の普及促進の業務に従事。同省基幹通信室課長補佐、情報活用支援室課長補佐、在トルコ日本国大使館一等書記官を経て 2025 年 7 月から現職。

ＰＲＯＦＩＬＥ　轟木　誠一郎（とどろき　せいいちろう）氏

2017 年　文部科学省入省、科学技術・学術政策局研究環境課（当時）にて特定先端大型研究施設の共用をはじめとした研究環境の整備や共用法の改正、研究開発局原子力課にて原子力分野の研究開発の推進、研究開発局開発企画課にて宇宙、海洋・地球等の分野における大規模な研究開発の推進に係る企画調整等を担当。現職にて、情報科学技術に関する研究開発や科学研究における AI 活用（AI for Science）の推進等を担当。

ＰＲＯＦＩＬＥ　宇田川　翔（うだがわ　しょう）氏

2016 年　弁護士登録、都内法律事務所に所属。任期付公務員として 2024 年　経産省入省。AI 事業者ガイドライン更新等の AI ガバナンス関連の業務や、自動運転車に関するルールの在り方、事業者間のデータ連係の推進等に関する政策を担当。

●受　講　料	各受講方法　1名につき　27，500円（税込） ※会場又はライブ配信受講者様で、アーカイブ配信もご希望の場合は追加料金11，000円（税込）で承ります。
●お申込方法	二次元バーコード、又は FAX にてお申し込み下さい。 折り返し受講証、請求書、会場地図（会場受講のみ）をメール（PDF）にてお送り致します。 お申込み後、3 営業日以内にお手元に届かない場合は必ずご一報下さい。 （セミナー会場にて受講される方は受講証画面を提示、もしくはプリントアウトしてご持参下さい） ※お客様のご都合でキャンセルされる場合は、**「開催１週間前まで」**にお申し出下さい。 その後のキャンセルは、お申し受けできませんのでご了承下さい。
●お支払方法	請求書を発行いたしますので、開催日までに銀行振込でお願いします。（遅れる場合はご相談下さい）

事前に、セミナー講師へのご期待、ご要望、ご質問をお受けしております。
可能な限り講義に盛り込んでいただきますので、お申し込み後、弊社からご連絡するメールにご返信下さい

■ライブ配信について

＜1＞Zoom にてライブ配信致します。
＜2＞お申込時にご記入いただいたメールアドレスへ視聴用 URL と ID・PASS を開催前日までにお送り致しますので、開催日時に Zoom へご参加ください。

■アーカイブ配信について

＜1＞開催日より3～5営業日後を目安に Vimeo にて配信致します。
＜2＞お申込時にご登録いただいたメールアドレスへ収録動画配信のご用意ができ次第、視聴用URLをお送り致します。
＜3＞動画は公開日より2週間、何度でもご都合の良い時間にご視聴頂けます。

10月22日（水）	「令和 7 年度　AI 関連政策最前線」	申込日　　月　　日

貴 社 名			
所 在 地	〒	○印をお付けください（ご自宅 ・ お勤め先）	

いずれかの□に必ず✔をお入れ下さい。（アーカイブ配信の追加受講をご希望の場合は、2つ☑をお入れ下さい。）

□ 会場受講	□ ライブ配信	□ アーカイブ配信

氏 名（フリカナ）		所属部署・役職	
ＴＥＬ	（　　）　　－	ＦＡＸ	（　　）　　－
Ｅ－mail	ブロック体でのご記入をお願いいたします。		

いずれかの□に必ず✔をお入れ下さい。（アーカイブ配信の追加受講をご希望の場合は、2つ☑をお入れ下さい。）

□ 会場受講	□ ライブ配信	□ アーカイブ配信

氏 名（フリカナ）		所属部署・役職	
ＴＥＬ	（　　）　　－	ＦＡＸ	（　　）　　－
Ｅ－mail	ブロック体でのご記入をお願いいたします。		

※「受講証」等の送付先が上記と異なる場合は下記にご記入下さい。

通信欄	

詳細・お申込はこちら↓

■主催　公益財団法人 原総合知的通信システム基金
■事務局（お申込み・お問い合せ先）株式会社 新社会システム総合研究所
お申込み受付 FAX ０３－５５３２－８８５１
〒105-0003　東京都港区西新橋2－6－2　ザイマックス西新橋ビル4階
Tel:03-5532-8850／E-mail:info@ssk21.co.jp／URL:https://www.ssk21.co.jp

※配信停止、宛先変更、個人情報の苦情及び相談・開示は上記までご連絡下さい。２５４４３－I